OAKLEY PRESS RELEASE

報道関係各位

2009年11月17日
オークリージャパン株式会社
http://oakley.jp/

～ オークリー本社のデザイナーによるアート展を開催 ～

オークリーストア原宿にてスペシャルアート展を開催

オークリージャパン株式会社（本社：東京都目黒区三田1-12-23 代表取締役社長：池田マイク）は11月25日（水）から12月25日（金）の期間、直営店であるオークリーストア原宿にてOakley本社（米国・カリフォルニア州）で活躍する2名のデザイナー、Brian Takumi（ブライアン・タクミ）とJason Kenitzer（ジェイソン・ケネツァー）のスペシャルアート展を開催致します。ブライアン・タクミはエンジニアとして様々な分野で活躍する父親の影響を受け、幼少の頃からビジュアル・アートに大きな関心を持って育ちました。カリフォルニア州立大学ロングビーチ校でアートに関する学位を取得したブライアンは大学を卒業後アート業界でキャリアを積み、1997年にオークリーに入社。現在はアパレルデザイン・ディレクターとして、全世界で人気を誇るオークリーのアパレルラインのデザインコンセプトから最終デザインの決定に至るまで、幅広くその才能と手腕をふるっています。また、アート以外にアクションスポーツをこよなく愛する彼は、時間があれば地元のトラックでBMXのフリースタイルライドを楽しんでいます。ジェイソン・ケネツァーは幼少の頃からアートに関する才能を発揮し、中学生の頃にはすでに大学レベルのデザインを勉強していました。ウィレム・デ・クーニングやジャクソン・ポロックなどの抽象表現主義の絵画にアーティストとして大きな影響を受けたと語る彼は、建築、彫刻、テクニカル・デザイン、スケッチや絵画などアートに関わりがある様々なものについて勉強をした後、2006年にオークリーに入社し、アパレルグラフィック・デザイナーとして活躍をしています。建築から絵画まで様々なアートを習得したジェイソンがデザインするアパレルは毎シーズン人気を博しています。「今、僕がオークリーでしていることは、収入やキャリアのためというより、自分自身の中にあるパッション（情熱）を表現することに近いね。例えるなら、僕の人生におけるサーフィンのようなものだよ。アートとサーフィンは、僕の人生においてとても大きなパートを占めていて、もしこの2つがなかったら僕は僕でなくなってしまうんだ」と語っています。オークリーの原点であるアクションスポーツに深い関わりを持つ2人のデザイナーによるこのアート展では、オークリーの定番アイウェアに彼らが特別にデザインを施したアイウェアのほか、このアート展のために2人が製作したアート作品を展示しています。

＜掲載紙・誌面でのお問い合わせ先＞
オークリーストア原宿
03-3409-5545

＜本件に関するお問い合わせ先＞
オークリージャパン　担当：大内・竹村
TEL：03-3716-9300　FAX：03-3716-9526

OAKLEY PRESS RELEASE

オークリーストア原宿　スペシャルアート展

期間　　：　2009年11月25日（水）～12月25日（金）

場所　　：　オークリーストア原宿

〒150-0001　東京都渋谷区神宮前5-17-4 神宮前トーラス1F/B1F

TEL:03-3409-5545

営業時間　：　11:00～20:00　不定休

入場料　　：　無料

＜Brian Takumiの作品＞

＜Jason Kenitzerの作品＞

＜掲載紙・誌面でのお問い合わせ先＞
オークリーストア原宿
03-3409-5545

＜本件に関するお問い合わせ先＞
オークリージャパン　担当：大内・竹村
TEL：03-3716-9300　　FAX：03-3716-9526